

こっとり 4

「こっとり」は、おうちで過ごす時間をテーマに、思いついたことを綴ったニュースレターです。

ケアと遊びのことを、おうちで頑張れない2人でお送りします。

動きたい子どもたち

ずりばいや寝返りが出来るようになってくる頃から、子どもの「動きたい気持ち」は加速していきます。始めは「動くことそのもの」が、そして程なく「探索と発見」が楽しみになってきます。よくこんなところまで来たね！と驚くほど移動していたり、たくさん移動できなくても手元に発見した小さなゴミをいじっていたり。子どもは立派な探検家&研究家に成長していきます。

早く動かないかなとあんなに願っていた周りのおとも、いざ動き出すと「これは大変！」とため息が出てしまうかもしれません。けれどこの探究心は生きていく上でなくてはならないもの。身体も心も「動く」ことで身近な世界とコミュニケーションを取って成長していきます。

そしてちゃんと「動く」と「止まる」こともできるようになります。

『動いて出会って止まって感じ取り、また動く』ひとつひとつにかかる時間の長さはその時によってまちまちですが、赤ちゃんも少し大きくなった子ども達も、自分のタイミングで探検と研究を繰り返しています。「動く」も「止まる」も動機が必要で、練習してできるようになることではなさそうです。

おうちにいると動く子ども達をなんとかしたいなあと思うことも多いですね。狭いスペースに入れてみたり、じっとできるものを渡してみたり、動きを封じる手段をおとなは持っています。でもその手段は必殺技としていざという時に取っておけるといいなと思います。

動く機会を奪われて困ることは、身体を動かせないだけではなく、自ら出会い発見する喜びを失うことです。おとなの本当に大切なものは手の届かないところに移動して、触れてもいいものや見守られながら触れられるものに囲まれて探索できたら「動く」と「止まる」のバランスは程よくなっていくことが多いです。子ども達は困らせたいのではなく、探索と発見を共に喜びたくて大人のすぐそばでうずうずしています。

Maruyama Machiko (しずかなおうち きなり)

子どもの楽しみ

ニックスロープ



自分が動くのも楽しいし、動いているものを見るのも楽しいのです！

ニックスロープは、動きがゆっくりで、目で追いやすく、また大きく動くので動きを追いかけてながら自分の体もしっかり動かします。

触ってみたいくなって手を伸ばしても、パーツは大きく誤飲の心配はありません。

パーツの種類が豊富で、パーツごとに動きや音など、おもしろい特徴があります。

カラコロール



鼓のような形ですが、縦にして転がします。次々と色が現れ、転がりながら、中で木玉がぶつかり、カラコロと軽快な心地よい音が響きます。

動きと音が連動しているので、どんなときに音がするかがわかってきます。動かし方で音が変わることにも気づくでしょう。微妙な加減は、電池ではなく自分の手で動かすことで得られる楽しみです♪

大人の楽しみ



飾る

さて、子どもが動き出すとじっくり座って自分の時間というものもしばらく取りにくくなって来るかもしれませんね。

お好みの小物を飾って、時々眺めて楽しんでみませんか。ドイツの工房でいねいに作られたかわいらしい作品と、お散歩で見つけた季節の野花、葉っぱ、枝、貝殻、そういったものを暮らしに取り入れ、子どもと一緒に季節を感じてみましょう。

krtek select toys : Yokoyama